

雨 (1932)

RAIN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 78分
初公開日 1933/09
公開情報 劇場公開

【解説】
南海に降る雨をモノクロで可能な限り動的に表現するサイレント・タッチの映像にまずは息をのむ。その雨は人間の欲望を洗い流す。あるいは逆に、それに駆られる心の揺れそのものの象徴でもある。主人公サディ・トンプソンは同船した一行と共に、嵐を避け孤島の旅籠（はたご）に宿を定める。サディの部屋から流れる“セントルイス・ブルース”。彼女を忌み嫌う偽善的な牧師の妻に、信仰の力で改心させてみせると豪語する夫。彼女の職業は伏せられているが、そこに近づく男の目付きでそれと知れる。一度は更生を牧師に誓い、神の名を唱える彼女。繰り返し聞こえていたレコードの音は止んでいる。しかし、嵐の到来と共に牧師の胸はざわついて、背徳への衝動にのまれてゆく……。初期のキャリアの頂点に達したクロフォードとヒューストンの演技のぶつかり合いが凄い。嵐の醸す停滞的な雰囲気をつぶさに伝えるマイルストンの演出も偉大だ。

【クレジット】

監督	ルイス・マイルストーン	Lewis Milestone
原作	サマセット・モーム	Somerset Maugham
脚本	マックスウェル・アンダーソン	Maxwell Anderson
撮影	オリヴァー・マーシュ	Oliver Marsh
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman
出演	ジョーン・クロフォード	Joan Crawford
	ウォルター・ヒューストン	Walter Huston
	ウィリアム・ガーガン	William Gargan
	ガイ・キビー	Guy Kibbee
	ウォルター・キャトレット	Walter Catlett
	ボーラ・ボンディ	Beulah Bondi